

材質
 本体：ニッケルクロムモリブデン銅
 ボルト：ハイテン(強度区分10.9以上)

M×P	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	N	R	T	DB	SW	自重(kg)	締付トルク(Nm)	型式		¥基準単価
																			Type	M	
8×1.25	30	54	34	35	40	12	29	11	75	45	40	5	32	75	24	13	0.3	30	RDLG	8	17,300
10×1.5	30	54	34	36	39	12	29	16	75	45	45	6	32	75	24	17	0.32	60		10	17,400
12×1.75	32	54	34	37	38	12	29	21	75	45	50	8	32	75	26	19	0.33	100		12	17,500
16×2.0	33	56	36	46	39	13.5	36	24	86	47	60	10	38	85	30	24	0.55	150		16	18,000
20×2.5	50	82	54	55	55	16.5	43	32	113	64	75	12	48	110	45	30	1.3	250		20	20,600
24×3.0	50	82	54	58	67	18	43	37	130	78	80	14	48	125	45	36	1.5	400		24	23,700
30×3.5	60	103	65	80	67	22.5	61	49	151	80	110	17	67	147	60	46	3.1	500		30	40,300
36×4.0	60	103	65	72	74	22.5	55	52	151	80	107	—	67	146	60	55	3.4	700		36	44,900
42×4.5	77	122	82	103	94	26.5	77	73	205	110	150	24	85	197	70	65	6.7	1000		42	89,400
48×5.0	95	156	100	117	105	36	87	73	230	130	160	27	100	222	95	75	11.6	2000		48	106,400

最大許容荷重 (t)

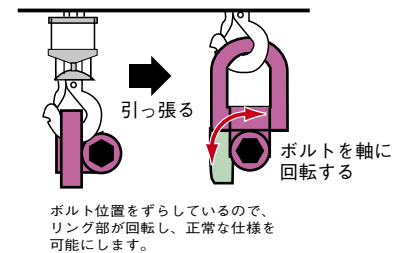
吊り方式	使用本数	吊り角度	RDLG											
			M											
			8	10	12	16	20	24	30	36	42	48		
	1	0	0.3	0.6	1	1.5	2.5	4	5	7	10	20		
	2	0	0.6	1.2	2	3	5	8	10	14	20	40		
	1	90	0.3	0.6	1	1.5	2.5	4	5	7	10	20		
	2	90	0.6	1.2	2	3	5	8	10	14	20	40		
	2	0 ~ 45	0.4	0.8	1.4	2.1	3.5	5.6	7	9.8	14	28		
		45 ~ 60	0.3	0.6	1	1.5	2.5	4	5	7	10	20		
	2	非対称	0.3	0.6	1	1.5	2.5	4	5	7	10	20		
	3 または 4	0 ~ 45	0.6	1.3	2.1	3.1	5.2	8.4	10.5	14.7	21	42		
		45 ~ 60	0.4	0.9	1.5	2.2	3.7	6	7.5	10.4	15	30		
	3 または 4	非対称	0.3	0.6	1	1.5	2.5	4	5	7	10	20		
締付トルク			30	60	100	150	250	400	500	700	1000	2000		

特徴

あらゆる荷荷方向に対応する、柔軟にして強靱な全方向アイボルト

ロードリングは、リング部の180°可動と、ボルトを軸にした360°回転により、全方向荷荷に柔軟に対応します。ボルト位置とリングをずらした設計により、従来品では横荷重のみが荷荷されるような状況でも、正常で安全な使用が可能です。また、強靱な仕様で、高い安全性を確保しています。2カ所可動により、あらゆる方向の荷荷に対応します。

- ・継ぎ目のないリングで強靱です。
- ・荷荷方向に360°回転します。
- ・全数磁気探傷検査合格品。
- ・機械指令2006/42/EGに適合しています。
- ・全方向荷荷が可能、4倍の安全率。
- ・取付面はSS400以上を推奨します。



ボルト位置をずらしているため、リング部が回転し、正常な仕様が可能になります。

ピンク塗装について

目を引く蛍光色のピンクパウダーによる表面塗装。周囲温度(225℃~380℃)で色変化し、強度劣化を目視で確認できます。

※380℃を上回る高温雰囲気では使用できません。



注意事項

- ・荷重リングは自由動作させながらも、吊り上げ対象物のエッジに触れないようにしてください。
- ・相手面に密着させて使用してください。
- ・反転作業にはバリオリング・パワーポイント等のベアリング入り製品を推奨します。

吊り上げ対象物への配置について

- ・単点吊りの場合：リフティングポイントは吊り上げ対象物の重心上に配置してください。
- ・2点吊りの場合：リフティングポイントは吊り上げ対象物の重心から等距離、あるいは重心上に配置してください。
- ・3点・4点吊りの場合：重心の周囲で対称となるよう、可能であれば、同一平面上に配置してください。

Example 使用例

